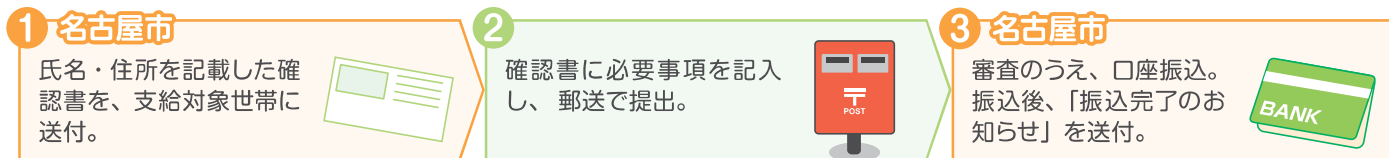
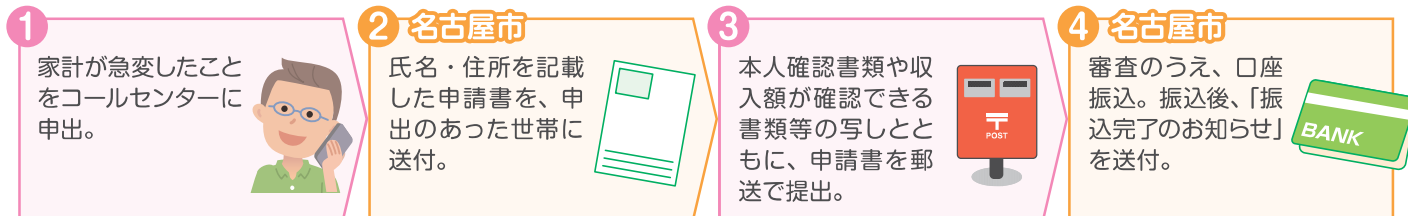


支給までの流れ

令和4年度住民税非課税世帯向け



家計急変世帯向け



次に該当される方は、コールセンターにお申出ください。

DV等により避難されている方

DV等避難者については、住民票を移すことができない場合や、DV被害者の税法上の扶養に入っている場合でも、避難中であることの証明があれば、独立した世帯とみなし、避難者（及び同伴者）が住民税非課税世帯又は家計急変世帯の収入要件等を満たしている場合は支給対象となります。

基準日以前に離婚された方

元配偶者による税法上の扶養にかかわらず、本人が属する世帯の全員が、住民税非課税世帯又は家計急変世帯の収入要件等を満たしている場合は支給対象となります。

令和4年度住民税非課税世帯のうち令和3年12月11日（土）以降に転入された方を含む世帯

名古屋市臨時特別給付金コールセンター

TEL 050-3135-3260 FAX 052-228-2774

【受付時間】 平日のみ：午前9時から午後5時まで



名古屋市非課税給付金

検索

◀市公式ウェブサイトはこちらから

※間違い電話が発生していますので、電話番号をよく確認し、おかけ間違いのないようご注意ください。

※お問い合わせが集中し、コールセンターにつながりにくい場合があります。その場合はお手数ですが、時間帯や日にちを変えておかけ直しいただきますようお願いいたします。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください!

ご自宅や職場等に、市役所や区役所（支所）、または愛知県や国（の職員）等をかたる不審な電話や郵便があった場合は、**最寄りの警察署**または**警察相談専用電話（#9110）**に連絡してください。



住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、また、真に生活に困っている方々への支援措置の強化として、令和4年度住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円の「臨時特別給付金」を支給しています。



支給額

1世帯あたり **10万円**（1回限り）

受給者

世帯主の方に支給します。

原則、令和2年度特別定額給付金の際の振込口座への振込となります。
（名古屋市が口座情報を把握していない場合は、振込口座を確認書等に記入していただく必要があります。）

提出期限

令和**4年9月30日（金）**まで **当日消印有効**

令和4年度住民税非課税世帯向け

対象要件

基準日（令和4年6月1日）において名古屋市に住民登録があり、世帯員全員が令和4年度分の住民税が非課税である世帯

家計急変世帯向け

対象要件 詳しくは次ページへ

申請時点において名古屋市に住民登録があり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、**令和4年1月以降の収入が減少し、世帯員全員が住民税非課税相当となった世帯**

※ただし、以下の場合は支給対象となりません。

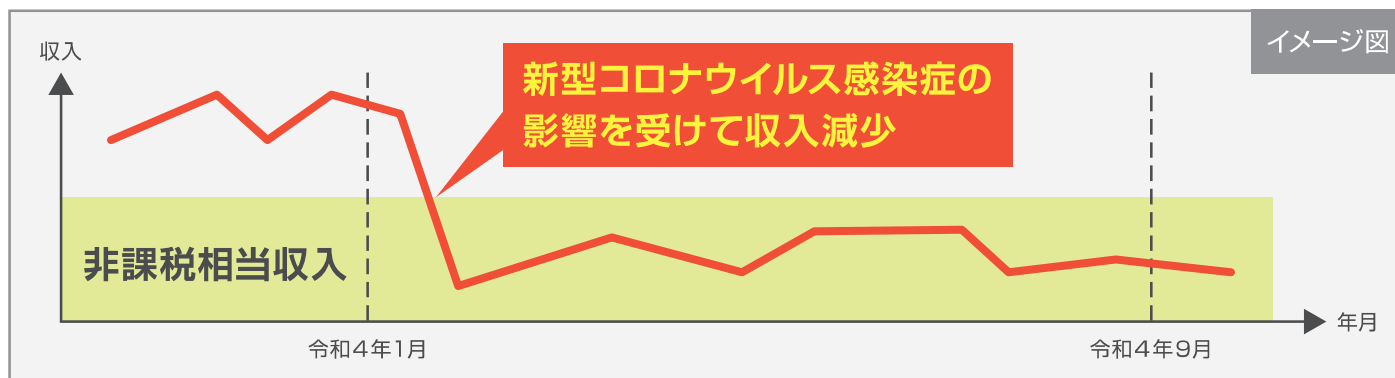
- ・令和3年12月10日時点で、いずれの市区町村にも住民登録がない場合
- ・既に、同給付金を受給した世帯と同一の世帯又は当該世帯の世帯主であった者を含む場合
- ・令和4年度分の住民税が課税されている者の税法上の扶養親族等のみで構成される場合
- ・租税条約により住民税を免除されている者を含む場合 など

名古屋市

家計急変世帯向け

対象要件 次の要件を全て満たす場合は対象となります。

- 令和3年度又は令和4年度住民税非課税世帯向け臨時特別給付金の対象世帯ではない。
- 令和4年度分の住民税が課税されている者の税法上の扶養親族等のみで構成される世帯ではない。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した。
- 世帯員それぞれが、令和4年1月以降の任意の1か月収入×12か月(年収換算)が「非課税相当収入限度額」以下である。



注意 新型コロナウイルス感染症の影響ではない収入減少により給付を申請した場合など、不正に受給した場合は、詐欺罪に問われる場合があります。

check! 世帯員それぞれの収入について確認してみましょう。

氏名	① ※該当する場合は チェックを入れる	② 左欄の者が 扶養する者 の数	③ 令和4年度 住民税課税 状況	④ 申し立てる 任意の1か月の 年月	⑤ 任意の1か月の収入			
					A 給与	B 事業・不動産	C 年金	D 収入合計額(A+B+C)
	<input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 未成年者 <input type="checkbox"/> 寡婦 <input type="checkbox"/> ひとり親	人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	令和4年 月	円	円	円	円
	<input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 未成年者 <input type="checkbox"/> 寡婦 <input type="checkbox"/> ひとり親	人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	令和4年 月	円	円	円	円
	<input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 未成年者 <input type="checkbox"/> 寡婦 <input type="checkbox"/> ひとり親	人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	令和4年 月	円	円	円	円
(例) 名古屋 一郎	<input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 未成年者 <input type="checkbox"/> 寡婦 <input type="checkbox"/> ひとり親	0 人	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	令和4年 2月	60,000 円	0 円	20,000 円	80,000 円

【ステップ1】世帯員の状況(※申請日時時点の状況で審査されます。)

- 世帯員全員の氏名を記入してください。
- ①該当する場合はチェックを入れてください。
「障害者」には、障害者控除対象者認定書の交付を受けている場合を含みます。
- ②世帯員それぞれが扶養している者の数を記入してください。
- ③該当するものにチェックを入れてください。

【ステップ2】申し立てる任意の1か月の収入

- 任意の1か月の収入を記入します。世帯員全員について記入してください。
- ④収入が減少した年月(令和4年1月から申請月までの任意の1か月)を記入してください。
 - ⑤上記④で選択した任意の1か月の収入を、項目別(【A】給与収入、【B】事業収入又は不動産収入、【C】年金収入、【D】収入合計額)にそれぞれ記入してください。

【ステップ3】年間収入見込額

- 年間収入見込額(⑥【D】収入合計額×12か月)を記入してください。

【ステップ4】非課税相当収入限度額

- 【ステップ1】で記入した②と同じ人数を記入してください。
- ⑦に上の「早見表」から、扶養人数に対応する金額を記入してください。

【ステップ5】比較

- 【ステップ3】で記入した⑥と【ステップ4】で記入した⑦を比べて、金額の大きい方の番号(⑥又は⑦)を記入してください。

注意 ①の欄に のある方と のない方で早見表の見える部分が変わります。

①の欄に のある方
※障害者、未成年者、寡婦又はひとり親である方
→早見表の左の欄
(例)扶養人数1人→2,043,999円を⑦に記入
(例)扶養人数2人→2,059,999円を⑦に記入

①の欄に のない方
→早見表の右の欄
(例)扶養人数0人→1,000,000円を⑦に記入
(例)扶養人数2人→2,059,999円を⑦に記入

扶養している者の状況	扶養人数	非課税相当収入限度額	
		①の欄に <input checked="" type="checkbox"/> のある方	①の欄に <input type="checkbox"/> のない方
単身又は扶養親族がない	0人	2,043,999円	1,000,000円
配偶者・扶養親族を計1名扶養	1人		1,560,000円
配偶者・扶養親族を計2名扶養	2人	2,059,999円	
配偶者・扶養親族を計3名扶養	3人	2,559,999円	
配偶者・扶養親族を計4名扶養	4人	3,059,999円	

世帯員全員が⑦となった場合に支給対象となる可能性がありますので、コールセンターにお申出ください。

※収入に基づく判定で支給対象外になった場合でも、所得の判定で非課税相当になる場合は支給対象となる可能性があります。

⑥ 年間収入見込額 【D】×12	扶養人数	⑦ 非課税相当 収入限度額	⑧ ⑥と⑦のうち 金額が大きい方
円	人	円	
円	人	円	
円	人	円	
(例) 80,000×12=960,000 960,000 円	0 人	1,000,000 円	⑦